

共同福祉センター

十月一日オープン
婦人・青少年・老人クラブなどに開放



さる四月中旬から工事が進められてきた「共同福祉センター」がいよいよ十月一日からオープンします。

この福祉センターは、雇用促進事業団の融資で建設されたもので市内で働く青少年や婦人、老人などの集いの場として利用されるものです。

完成された福祉センターは副港広場（開運町三、音楽センター隣り）総工費三千万円、鉄骨コンクリート二階建、総面積五百三十三・九平方メートルに研修室三室、結婚式もできる大ホール（三十五・九一平方メートル）、娯楽室、食堂、教養室などに、全館温風暖房が完備されています。

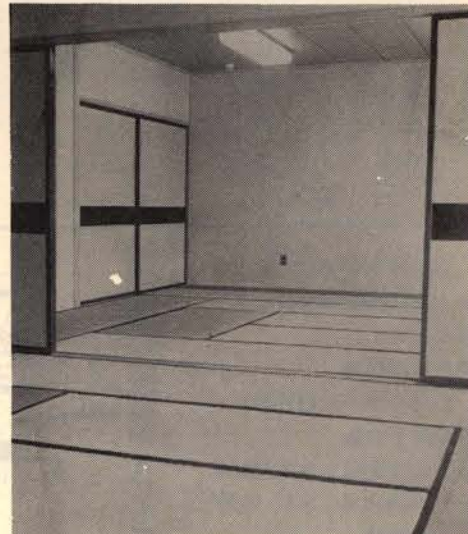
とくに、一階和室は、老人クラブとして利用、入浴などもでき、のんびりと過ごしてもらおうというものです。

また、二階の研修室やホールは勤労青少年や婦人団体などの研修の場として利用していただきます。

▲市民の利用が期待される福祉センター

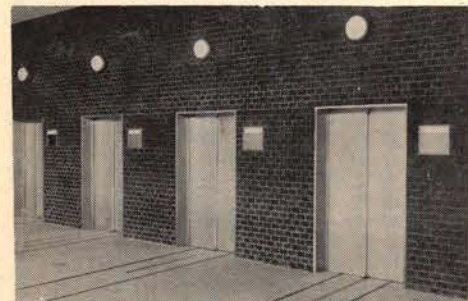
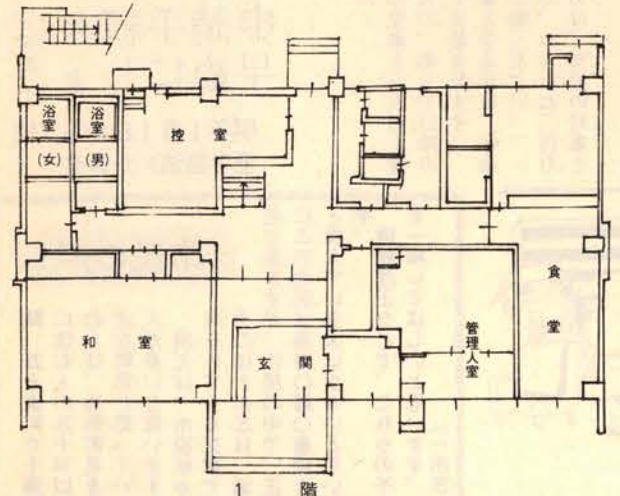
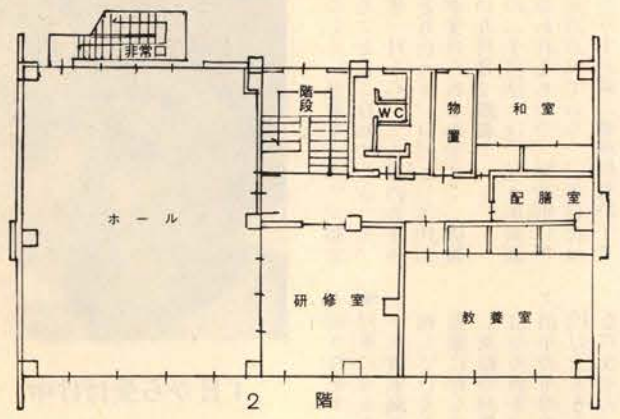


▲結婚式や研修に利用できる大ホール（2階）



◀老人のいこいの場となる和室（1階）

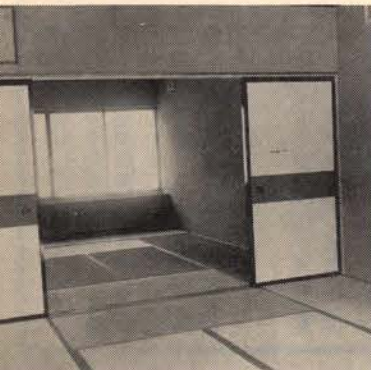
共同福祉センター平面図



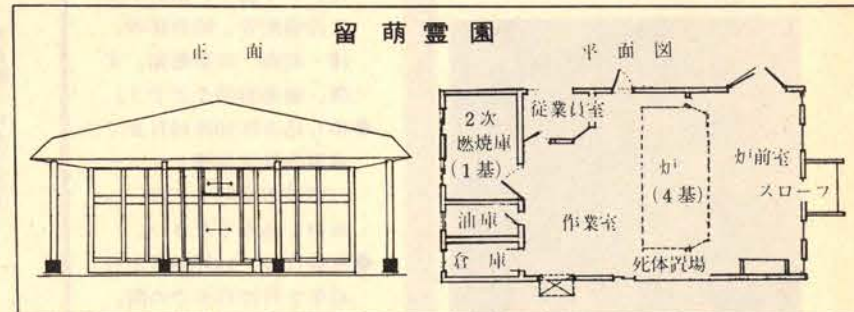
◀一度に四体を火葬できる炉

区	分	使用料
15才以上の者	1体につき	1,300円
6才以上15才未満の者	1体につき	900円
6才未満の者	1体につき	500円
死産児	1体につき	250円
身体の一部	1個につき	150円
えな及び産あい物	1個につき	50円

◀火葬場使用料金



◀別棟に建設された待合所



▶道北随一の設備を誇る「留萌霊園」

留萌霊苑、完成

1日から使用開始 臭いも煙りもありません

沖見町の市営火葬場の老朽に伴ない、さる七月上旬から工事が進められてきた市営火葬場が、九月三十日、「留萌霊苑」として完成しました。

新しく建てられた火葬場は、名称を「留萌霊苑」と名付けられ道内でも数少ない設備を誇る同霊苑は、いよいよ十月一日から使用が開始されます。

新しく誕生した留萌霊苑は、市内大和田町（原野三線）の市有地で、国道二三三号線ぞいの沢です。総工費二千九百万円で総面積五二九平方メートル、本屋は鉄骨造り二二四平方メートルに、炉五基（火葬炉四基二次燃焼炉一基）、従業員室、燃焼庫などが完備されています。

とくに、新築された霊苑施設で全道にも数少ないといわれる炉は

新式の灯油焚で、煙りも臭いもありません。

また、別棟には待合室が建てられています。

待合室は、平屋モルタル造り一七平方メートルに和室、休憩室などを完備、さらに管理入住宅五十平方メートル、残骨室、駐車場も整備されています。

とくに、同霊苑は国道ぞいに建設されたことにより、冬期間も従来のように雪に悩まされることもなくなりました。

この霊苑の完成により、市内にある野天火葬場も廃止され、一カ所に統合されました。

また、火葬場使用料は次のようになっています。